

領域	重点目標	具体的な取組	no.	内容・スケジュール	学校自己評価 (回答率86.4%)		学校関係者評価 (学校評議員等15名)		
					点数	評価	点数	評価	
信頼される学校づくり	効果的な情報発信	生徒指導部だよりの発行	1	毎月生徒指導部だよりを発行する。	92.1	A	87.5	A	
		学年通信の発行	2	毎月学年通信を発行する。	87.9	A			
		ホームページの充実	3	HPを刷新し、更新を増やし本校の旬の情報を提供する。	81.8	A			
		中学校への説明会の充実	4	6/22、8/22、11/1のオープンハイスクールに加え、各中学校での説明会を実施する。	82.6	A			
	危機管理体制の確立	いじめの未然防止と早期発見		5	いじめ対応チーム会議で生徒情報交換をする。毎学期いじめアンケートを実施する。	78.5	A	74.4	B
				6	ネットに絡むいじめについて講演会を実施し、考える機会を持つ。	82.1	A		
		生徒情報の共有	7	学年会等で生徒情報交換をし、全職員へ周知する。	59.1	B			
		防災マニュアルの見直しと避難訓練の実施	8	既存のマニュアルを見直し、実効性の高い避難訓練を実施する。	72.1	B			
	地域・家庭・関係機関との連携	関係機関との情報交換	10	生徒指導連絡協議会、青少年育成関係者交流会等で情報交換を行い、教職員に周知する。	73.2	B	80.0	A	
		家庭との連携	11	保護者会を年2回、三者面談を少なくとも年1回開催する。	87.4	A			
		設備・施設の安全管理	9	定期的な点検と職員アンケート等により危険箇所を確認・整備する。	55.0	B			
学力向上と進路実現	職員の授業力・資質の向上	研究授業の充実	12	研究授業等で授業評価を行う。	69.7	B	76.3	A	
		職員研修会の実施	13	生徒指導、進路指導、教育相談、人権教育、カウンセリングマインド等の研修会を実施する。	75.0	A			
		初任者の育成	14	指導教員を中心に校内研修の充実を図るとともに、校外研修の成果を報告する機会を与える。	63.8	B			
	すべての生徒の学力向上	補習・補充の充実	15	早朝、放課後、土曜、長期休業中に実施する。サマースクールを充実させる。	86.2	A	87.5	A	
		家庭学習の充実	16	毎日「学習の記録」を提出させ、家庭学習の習慣化を図る。	75.0	A			
		小テストの実施	17	朝のSHRで実施する。	85.0	A			
	総合的な学習の時間の充実	目標(取り組む姿勢、社会性、考える力、発表する力)の共有	18	委員会で目標、取組について情報交換する。	62.6	B	74.4	B	
		生徒の取組の公開	19	生徒の取組を広く校内に公開する。	59.1	B			
	進路指導の充実	3年間を見据えた進路計画の立案と実行(キャリア教育の推進)	模擬試験の活用	20	「仕事を知らず講演会」「大学模擬授業」「進路ガイダンス」等を実施する。	81.5	A	81.9	A
			模擬試験の活用	21	模擬試験後の指導方法を確立する。	59.1	B		
教育課程の充実	生徒の実態にあった教育課程の編成	22	10月中に次年度の教育課程を完成する。	73.8	B	78.1	A		
創造的な校風の樹立	演劇科の充実	基礎学力の向上	23	県の事業等を活用し、学習に取り組む姿勢を育てるとともに、読解力・思考力を高める特別講座を実施する。	59.7	B	89.4	A	
		コミュニケーション能力の育成	24	専門科目等を通して、対話力・表現力を身につけさせる。	65.6	B			
		SPP事業の充実	25	年間計画に従って、事業を進める。	75.6	A			
	GS科(コース)の充実	大学との連携授業の充実	26	京都大・大阪大・京都教育大との連携事業を実施する。	82.6	A	89.4	A	
		シアトル研修の充実	27	MS社での研修等、魅力的なプログラムを企画する。	82.6	A			
	ふるさと貢献事業の充実	地域自治体との連携を深める	28	ボランティア清掃や地域の催し(ラピスタふれあいフェスティバル等)へ積極的に参加する。	77.4	A	74.4	B	
		養護学校・社会福祉施設との交流	29	演劇科や普通科の生徒による交流を継続する。	76.8	A			
	国際交流事業の充実	西オーストラリア・マレーシア研修団派遣	西オーストラリア州・ロッキングハム高校からの訪問受入	30	訪問事前学習、授業参加、ホームステイ、体験し、帰国後、しおりを作成する。	75.6	A	85.6	A
				31	歓迎行事、授業参加、学校行事への参加等、交流を実施する。	74.6	B		
豊かな人間性の涵養	規律ある態度の育成	月間指導目標を立て、指導にあたる	32	毎月、指導目標を立て、あらゆる機会を通じ指導にあたる。	64.4	B	83.8	A	
		授業開始時の挨拶および服装確認	33	教科担当にも協力を依頼し、毎授業開始時に実施する。	62.1	B			
		遅刻防止週間の設定	34	学期始めの一週間は遅刻防止週間とし、指導にあたる。	78.5	A			
		校門指導の実施	35	毎朝、担任以外の教員で挨拶、身だしなみ、遅刻指導する。	78.5	A			
		人権教育の推進	人権教育の充実	36	人権HR・人権講演会を実施する。	61.5			B
	図書館利用の推進	各種案内、統計、新着図書紹介で利用推進を図る	38	毎月、「図書だより」を発行する。	72.1	B	66.9	B	
		各教科と連携して図書資料の提供を行う	39	「読書感想文」「小論文対策」「保健」「総合学習」等で図書館を積極的に活用する。	49.7	C			
		健康診断を通して自分の健康状態を知る	40	健康診断を行い、異常があった生徒に個別指導等を行う。	83.2	A			
	保健・健康教育の推進	健康・安全教育の充実	41	性教育講演会、歯科保健指導、整形外科医による安全講演会を実施する。	82.1	A	81.9	A	
		教育相談の充実、及び保健便りの発行	42	月2~3回のカウンセリング、月1回の保健便り発行。	81.5	A			
		文化フェスティバルの充実	43	6月初旬の2日間文化フェスティバルを行う。	89.1	A			
	学校行事の充実	体育大会での授業発表・クラス別応援合戦・全部活動による運営	44	10月初旬、体育大会を行う。	91.5	A	89.4	A	
		球技大会での生徒会・体育委員・部活動による企画運営	45	毎学期末、学年別球技大会を行う。	86.8	A			
	生徒会活動の充実	学校行事の企画運営	46	文化フェスティバル、体育大会、球技大会、鍛錬遠足等を企画、運営する。	80.9	A	85.6	A	
		専門委員会の運営	47	4月・10月・2月に専門委員会を行う。2月に生徒集会を行う。	79.1	A			
ボランティア活動への参加		48	地域自治会の祭り等にボランティアとして参加する。	73.2	B				
部活動の充実	部活動部長会を開催する	49	部長会を5月、9月、12月、3月に行う。	78.5	A	87.5	A		
	部活動部員集会を開催する	50	部員集会を7月に行う。	79.1	A				